

2008 JULY Vol.23

山梨県老人保健施設協議会広報誌

YAMANASHI



介護保険制度の充実に向けて

平成20年度 山梨県老人保健施設協議会定期総会

第2回施設職員交流ソフトボール大会

部会活動報告

施設訪問記 峡南ケアセンターいいとみ

介護保険制度の 充実に向けて



山梨県福祉保健部
長寿社会課長

三枝 幹 男

介護保険制度は創設以来、サービス利用が急速に拡大を続けており、超高齢化社会において老後の安心を支える社会システムとして一定の評価を受け、定着してきたところです。

その間、利用拡大に比例した総費用の増大、介護サービスの利用の多様化や質の向上への要求の高まりなどの情勢の変化に伴い、様々な課題も生じており、数度の見直しが行われております。特に平成18年2月に施行された改正介護保険法においては、予防重視型システムへの転換、地域密着型サービスの創設などの新たなサービス体系の確立、指定更新制の導入等の事業者規制の見直しやサービス情報公表制度の導入等によるサービスの質の確保・向上などを柱に据えて、制度創設以来の大幅な見直しが行われました。

各介護保険施設・事業所においては、制度変更に対応した組織運営体制の見直しや、サービス内容の向上などの取組みに多くの御苦勞をいただく中、改正法施行から2年が経過し、新たな制度に基づくサービスの充実も着実に進んでいるものと認識しており、皆様の御尽力に対してあらためて感謝申し上げる次第です。

さて、かねてから重要課題となっている療養病床の再編成については、平成23年度末までに介護療養病床の廃止及び医療療養病床の削減の方向が決定され、介護老人保健施設やケアハウス等への円滑な転換や必要なサービス量の確保等の対応が必要となっています。

県においては、療養病床の再編成を踏まえた必要な介護サービスの整備促進や、円滑な転換のための支援策等を含めた「山梨県地域ケア体制整備構想」を本年3月に策定したところであり、各種サービスや社会資源等の連携を図る中で、地域の高齢者医療・介護ニーズに即した総合的な地域ケア体制の整備を目指して参ります。

その他にも高齢者福祉の分野には、介護予防、認知症対策、虐待防止など様々な課題がありますが、こうした課題に対応する施策を積極的に推進して参りますので、皆様方の御理解と御協力をあらためてお願いする次第です。

終わりに、山梨県老人保健施設協議会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念し、結びといたします。

平成20年度 山梨県老人保健施設協議会定期総会



4月25日（金）ベルクラシック甲府において、30施設より59名の会員参加のもと、山梨県老人保健施設協議会定期総会が開催されました。

はじめに保坂 久会長より介護職員の待遇改善を求める署名が全国で167万人、県内でも2万3千人以上の署名が集まったこと、介護療養型の廃止に伴い、現在35万床ある療養型が15万床に減少し、介護療養型老健施設もできるなど、多くの困難な問題が山積みしているが、介護施設の

理念を堅持し初心に帰って肅々と我が道を行く決意であるとあいさつがありました。

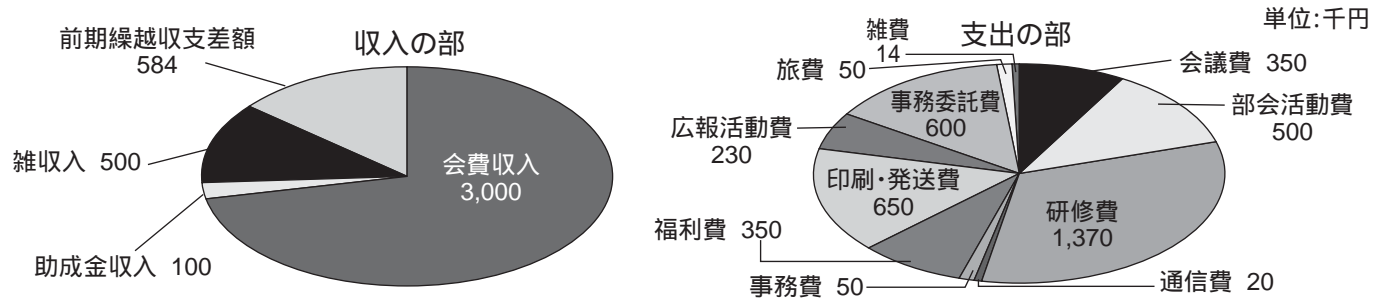
続いて、来賓として三枝幹男（県福祉保健部長寿社会課長）様から、介護保険制度の大きな見直しより2年が経過しましたが、新たな制度に基づきサービスの充実がすすんでいる。また、「山梨県地域ケア体制整備構想」を今年3月に策定し、地域の高齢者医療・介護ニーズに即した総合的な地域ケア体制の整備を目指していくとあいさつがありました。



引き続き、議案審議にはいり、平成19年度の事業報告・決算報告、20年度事業計画・予算、また8部会の事業報告・決算や事業計画・予算についても審議され全議案とも全会一致で原案どおり可決承認されました。

総会終了後、懇親会が開催され、会員相互が熱心に情報交換や意見交換がなされ、有意義のうちに終了しました。

平成20年度 山梨県老人保健施設協議会収支予算書の概要



保坂会長挨拶

山梨県老人保健施設協議会

会長 保坂 久



平成20年度山梨県老人保健施設協議会定期総会の開催にあたりご挨拶申し上げます。

会員並びに職員の皆様そして県から長寿社会課長様にもご出席いただき有難うございます。

本定期総会は平成19年度の協会活動を総括しての事業報告・決算報告、並びに平成20年度事業計画・予算案等をご説明しご承認を戴き本年度も力強く活動を展開し介護老人保健施設としての役割を充分発揮できるよう慎重に審議の上、ご承認賜りたいと存じます。

さて、昨年度を振り返って見ますと、なんとといっても介護職員の待遇改善を求めた全国規模での署名運動の展開であったと思います。深刻な介護職員の人手不足、それが介護報酬の低さに起因すると指摘した或る市民の指摘が起爆剤となり、埼玉県老健協が県下の老健施設に呼びかけ署名運動を展開したところ非常に高い県民の関心と呼んだことから、これを全国に展開しようと全老健川合会長の呼びかけで、全国的に署名運動を展開したところ各地でも強い反響を呼び全国で167万人の方々から貴重な賛同の署名を戴きました。本県でも会員皆様のご協力を得て県下各界各層に呼びかけて頂き23,041名の方々から、貴重なご署名を戴きました。これを全老健に報告するとともに山梨県横内正明知事に直接私達から署名簿を手渡して、介護職員の不足、窮状が国の定める介護報酬の低さにあることを知事から国へ直接訴えていただけるようお願いをいたしました。今回私達はこの運動の展開に際して本県県会議員の方々からも大変なご協力を頂き私達とともに直接知事にお口添えいただいたこともご報告申し上げておきたいと思います。私は今回の署名運動のご協力に対し心から感謝申し上げますとともに、私達の願いが必ずや通じる日が来ることを確信しております。本当に有難うございました。

又、ご承知のとおり、今、国は全国約35万床ある療養型病床を15万床に削減、これを介護老人保健施設や居宅介護施設等に転換し医療費の削減を図ろうとしております。この転換型療養病床を新たに介護療養型老健施設として名称を変え新しいタイプの介護老人保健施設を作り私達既存の介護老人保健施設には全く認めない医療加算を認めようとしております。我々にとって見れば、これが所謂ダブルスタンダードの老健施設であり、これが将来我々老健の運営に少なからぬ影響をもたらすことは想像に難くありません。しかし今は、私達介護老人保健施設の理念を守り粛々と我が道を行くことだと思えます。ただ私達の理念を守るためにも、署名運動に見られたように私達の意味も堂々と主張するよう心がけねばならないと思います。介護情報公表にかかわる手数料の件についても本県は全国レベルで見てもやや高すぎる感があります。少しでも我々の負担を軽減できるよう県に要望していきたいと思っております。いずれにしても私達は経済的にも社会的にも非常に厳しい環境にありますが私達の尊い使命を十分に自覚すると共に的確な情報を社会に積極的に伝えてゆかねばなりません。インフルエンザやノロウイルスの感染等私達は絶えずその脅威にさらされております。しかし、私達は常にこれに向かって絶えず敢然と立ち向かっているという姿勢も的確に社会に発信していく必要があると考えます。

終わりに会員の皆様の更なる発展とご健勝をご期待申し上げまして私の挨拶といたします。

平成20年度 山梨県老人保健施設協議会事業計画

- 1. 定期総会の開催 年1回
- 2. 臨時総会の開催 必要に応じて開催
- 3. 理事会の開催 年5～6回
- 4. その他の事業
 - (1) 医師連絡会の開催 年1回
 - (2) 行政主催の各会議への参加 随時

月	協議会活動	専門部会活動
4	研修委員会(4/4) 広報委員会(4/11) 理事会(4/4) 福利委員会(4/8) 定期総会(4/25)	専門部会長会議(4/11)
5	研修委員会(5/9) 福利委員会(キャプテン会議)(5/9) 第2回職員交流ソフトボール大会(5/18) 新人職員研修会(5/28)	支援相談員部会(5/20)
6		介護支援専門員部会(6/18) 看護部会 介護部会 リハビリ部会 栄養士部会
7	理事会 広報誌『ろっけん』23号発刊	事務長部会 通所リハビリ部会
8		支援相談員部会(8/19)
9	研修委員会 福利委員会(キャプテン会議) 第14回職員交流ソフトボール大会(9/21)	栄養士部会 介護・看護部会合同学習会
10	理事会 研修委員会 第11回山梨県老健大会(10/29)	介護支援専門員部会(10/15) 事務長部会
11		支援相談員部会(11/18) 通所リハビリ部会
12	理事会	
1	研修委員会 広報誌『ろっけん』24号発刊	介護・看護部会合同学習会
2	特別研修会	支援相談員部会(2/17) 介護支援専門員部会(2/18) 通所リハビリ部会 事務長部会
3	医師連絡会議 理事会	看護部会 リハビリ部会 栄養士部会

上記の月間予定については変更になる場合がありますのでご確認ください。

第2回 施設職員交流ソフトボール大会



平成20年5月18日(日)、若葉の鮮やかな季節の下、甲府市水道局グラウンドにおいて、「第2回山梨県老人保健施設協議会職員交流ソフトボール大会」が、山梨県老人保健施設協議会副会長輿石昭三様の挨拶、前回大会優勝の山梨ライフケア・ホームの選手宣誓により開催されました。

公式行事となってから2回目の今大会は、第1回大会より多い21施設の参加がありました。

決勝戦まで勝ち進み、最後にNAC湯村を破って優勝をもぎ取る自然の展開でした。

なお、今大会も皆様のご協力により順調に進行できましたことを、心より感謝お礼申し上げます。また、大会運営に際し、ご尽力いただきました関係者各位の皆様、本当にありがとうございました。

優勝インタビュー

第2回職員交流ソフトボール大会において初優勝できとても嬉しいです。

4試合を戦いどのゲームも接戦でしたが、今大会に向けチームで練習をしてきた成果を発揮できた事と応援・選手のみんで一丸となり戦えた事が今回の結果に繋がったと思います。

又、今年は施設でユニホームを作ってもらった例年以上に合いが入りました。その甲斐もあり、ゲームでは数々のファインプレーが出て盛り上がりました。試合を通して親睦を深められ最高の一日になり良かったです。

このような素晴らしい大会を開催して下さった事務局の皆様方に感謝と共に、また来年度第3回大会を楽しみにしています。
甲州相川ケアセンター 坂本 司



部 会 活 動 報 告

リハビリテーション部会

第3回 リハビリテーション部会の開催
 日 時：平成20年3月6日（木） 18：00～20：00
 場 所：介護老人保健施設 ふじ苑 1F フロアー
 出 席：21施設 34名
 内 容：講義・実技

講 師：山梨リハビリテーション病院
 作業療法士 工藤 亮先生

テーマ：「室内の移動について」
 ～訪問リハの現場から～

昨年度の通所リハビリ部会では、介助や介護の中でも利用者様の能力の維持や改善を目指した通所リハビリサービスを提供することができないか、と考えリハビリテーションの視点に立った介助や関わりを学ぶ機会を設けました。

会場や時間帯が以前とは変わり、当初は参加者が少ないのではないかと危惧しておりましたが、予想に反し多くの部会員の参加を得て実りの多い部会活動になったと感じております。

部会長 長田 悟

通所リハビリ部会

平成19年度 第2回リハビリテーション部会の開催
 日 時：平成19年12月21日（金） 15：00～17：00
 場 所：甲州ケア・ホーム
 活動内容：グループディスカッション

「老人保健施設におけるリハビリの効果判定」
 情報交換

第2回部会は、22施設26名の出席がありました。今回はそれぞれの施設における評価方法・書式や、リハビリの効果、リハビリテーション実施計画書の運用などについて、グループディスカッション形式で討論・情報交換を行いました。

次回の部会では、来年度の部会の運営が計画的に行えるよう、話し合いを持つ予定です。老人保健施設におけるリハビリテーションサービスの向上に寄与できるよう、有意義な会としていきたいと思っております。



部会長 後藤 雅貴

事務長部会

平成19年度第2回 事務長部会の開催
 日 時：平成19年12月5日（水） 14：30～16：00
 場 所：笛吹市スコレーセンター
 出 席：24施設26名

活動内容：（1）平成19年度実地指導について
 （2）アンケート調査報告

平成19年度第3回 事務長部会の開催
 日 時：平成20年3月14日（金） 14：30～16：00
 場 所：笛吹市スコレーセンター
 出 席：29施設32名

活動内容：（1）平成18年度介護サービス事業者の指導
 結果報告

（2）介護保険負担限度額認定者数について
 事務長部会では、毎回各施設が抱える
 問題について、協議を行っております。

部会長 網倉 健也

介護支援専門員部会

平成19年度第3回 介護支援専門員部会の開催
 日 時：平成20年2月20日（水）14：00～17：00
 場 所：山梨県立青少年センター 第2会議室
 活動内容：グループワーク「ケアプラン作成における情報交換」

・ケアプラン作成における各施設のアセスメント～モニタリングの一連作業と他職種との関わりなどを情報交換

・平成20年度の役員紹介
 ・介護支援専門員部会名簿確認

今年度の第3回目の部会は上記の内容で開催をしております。孤独な作業になりがちなケアマネ業務の中で、誰に聞いていいのかと悩むことがあります。部会を通して他施設のケアマネからの情報を得られ有意義な時間を持てました。

今後も施設ケアマネの横の連携を強めて行けたらと思います。

部会長 山内 亮子

部 会 活 動 報 告

看護部会

第3回 看護部会（師長会議）

日 時：平成20年3月12日（木）14：00～16：30
場 所：リバース和戸 第3研修室
平成19年度事業報告・会計報告
平成20年度役員紹介
情報交換：

ターミナルケアについて各施設ではどのように対応、取り組みしているか。

認知症の利用者の徘徊による転倒のリスク、骨折等の予測される現在、他の施設での対応策は糖尿病、胃瘻・在宅酸素の使用している方等、増加傾向にあり辛い現状の訴え

看護職の経験年数、年齢に（巾）がある中で目標管理を部分的に導入し、看護師の質を上げると共に、人間関係面の質を向上させていきたい。

通所を含めて禁煙について各施設での対応はどうしているか。

今年度も、老健施設での適切なる医療のサポートができるよう連携を深め質の向上に努めてまいりたいとおもいます。

部会長 伊藤 一美

介護部会

第3回 看護・介護合同研修会の開催

日 時：平成20年2月6日（水）14：00～16：00
場 所：山梨県青少年センター 2階多目的ホール
活動内容：講義 「疥癬について」
講師 山梨大学医学部附属病院
皮膚科学講座医師 岡本崇先生
出席：26施設58名



疥癬についての知識をしっかりと持つという目的で行われました。予防のポイント、感染してしまった時の対応、通常疥癬、角化型疥癬の違いや特徴、診断、治療について、勉強させていただきました。今年度も施設間の意見交換や合同研修会など実りのある部会にしていけたらと思います。

部会長 平山 千鶴子

栄養士部会

第3回 栄養士部会の開催

日 時：平成20年3月13日（木）14：00～17：30
場 所：リバース和戸
活動内容：「高齢者のDM管理について」
講師 保坂内科クリニック院長 保坂嘉之先生
平成20年度役員選出

今回は講師として富士吉田市に生活習慣病治療施設のある保坂内科クリニックの保坂先生にお越しいただき研修を行いました。このごろでは介護施設の入所者の2～3割くらいに糖尿病の方がいるということです。また、高齢者の糖尿病と若い人の糖尿病についても教えていただきました。高齢者はインスリンの不足によるものが多く、インスリンの不足はADLの低下や死亡率上昇につながるのとことDM管理が入所されている方の生活そのものに大きく関わってくると思えました。ひとつの病気に的を絞って行った今回の研修会はとても勉強になり、今後の業務に生かしてゆきたいと思っています。

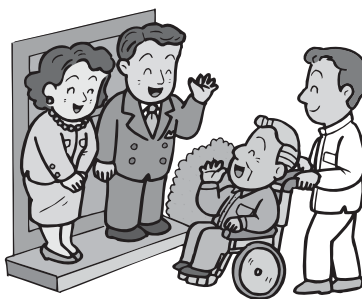
部会長 若狭 綾子

支援相談員部会

20年度第1回 支援相談員部会

日 時：平成20年5月20日（火）14：00～17：00
場 所：リバース和戸
今年度はテーマを「相互理解と情報の共有」とし、「頑張れ支援相談員！スキルアップしよう」を合言葉に、例年以上に討議の時間を増やし、自分たちの業務や他職種、他施設の特色を理解、共有し、支援相談員としての技術、知識の向上を図っていきます。

第1回では、先に回答を頂いた、老人保健施設受け入れ基準を元に話し合いを行い、それぞれの施設が持つ特性について理解を深めました。これを機会に県内の老人保健施設が、もっと利用しやすく、もっと県民の皆さんに身近な存在となるよう、支援相談員の立場から研究を継続してまいります。



部会長 本 敏己

施設訪問記

峡南ケアホームいいとみ

(訪問者 しおかわ福寿の里)



5月の心地よい風が吹く中、峡南ケアホームいいとみを訪問させていただきました。山梨県の南部、身延町に位置し、県内の老健では最も南にある施設で飯富病院に併設されています。今回はお忙しい中、大谷部長と井上相談員にお話を伺いました。

施設の特徴

平成7年4月に認知症専門棟を有する施設として開設され、併設の飯富病院・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所を一元的に経営管理しているので、うまく連携も取れていて、峡南地域の福祉サービスの総合的な拠点として、大きな役割を担っています。また、子供のいる職員のために、施設内に託児所を設置していて、安心して働けるようになっています。

レクリエーション

毎月、その時期ごとに、花見・七夕・納涼祭・運動会などを職員を3グループに分けて企画計画して行っているそうです。6月は利用者さんを2グループにわけて、広い芝生広場などがある富士川クラフトパークに散策に行かれるそうです。

今後の目標・取り組み

峡南地域は高齢化がすすみ、独居や高齢者の二人暮らしがすすんでいるそうです。そんな地域の特性を踏まえ、老健施設だけではなく、病院・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所と密に連携をとり、地域一体型医療の一つとして地域住民が安心して、在宅生活を送っていけるように地域医療を担っていききたいという施設の意気込みが伝わってきました。

シリーズ さくひん



赤富士 (峡南ケアホームいいとみ)

通所リハビリの人達で作った赤富士の絵です。一階の家族介護教室の壁に飾ってあります。

施設の概要

入所定員 54名
通所定員 20人
協力病院 飯富病院
所在地 〒409 - 3423
南巨摩郡身延町飯富1655
電話番号 TEL 0556 - 42 - 4314
FAX 0556 - 42 - 4331

編集後記

広報委員会も最後の2年目となりました。今年は広報委員会の活動として、山梨県老健協のホームページをいかに活用していくかについて、検討していきたいと思っています。限られた予算の中、広報「ろうけん」の読者対象と発行部数の見直しなどを通して経費を削減し、ホームページ管理の予算に振り分けられるようにし、研修会の内容も閲覧できるようにしたり、年間予定なども随時追加しながら、活気あるものにしていければと思っています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

広報委員長 都 倉 昭 彦
(しおかわ福寿の里)



山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会
事務局 〒405-0076
山梨県笛吹市一宮町竹原田1255-1
いちのみやケアセンター内
TEL.0553-47-4811
FAX.0553-47-4815
ホームページ:
http://www.y-rouken.jp
Eメール:rouken@tiara.ocn.ne.jp
印刷 株式会社 少国民社